

論文要旨

所属ゼミ	高木 研究会	学籍番号	80830661	氏名	竹内 香苗
(論文題名)					
保護者の目線から見た障害児支援の望ましいあり方 -家庭が必要とするものと公的支援のギャップを埋めるには-					
(内容の要旨)					
【本論文の研究対象】 軽度知的障害児が成人後に自立するために求められるスキルやアプローチ方法					
【本論文の目的】 1. 軽度知的障害児の身辺自立に向けたトレーニング方法を療育と成人支援の視点から検討する。 2. 上記1を通じて、保護者（とくに母親）が育児と仕事を両立させることができるかを検討する。					
【本研究の意義】 1. 増加しているといわれる軽度知的障害児について理解を深め、障害児の育児と仕事を両立させる方法を理解する。 2. 上記1にともない、今後増加する知的障害者の就労に向けて理解を深める。					
【本論文の研究方法】 文献研究					
【本論文の結論】 1. 障害の特性を理解し、問題解決へのアプローチ方法を工夫する必要がある、それによってできることを増やし、身辺自立が可能となるが、療育のめざすものと自立するために必要なスキルは必ずしも一致しないため、取舍選択する必要がある。 2. 保護者だけでなく、自治体や教育関係者等専門家と協力することで、障害児を育てるにあたっての負担を軽減させることが可能であり、上記1をより効率的に行うことが可能となる。 3. 上記1および2によって、障害児をもつ保護者であっても、育児と仕事の両立は可能である。					